

アジア太平洋地域における国別トップレベルドメイン(ccTLD)管理機関間の連携を行うため、1998年7月、APNGを母体として組織



Jump [www.aptd.org](http://www.aptd.org)

問い合わせ先

APTLD事務局(台湾)

**E-mail** sec@aptd.org  
**tel** +886-2-2341-1313 ext 702  
**fax** +886-2-2396-8832

APTLD (Asia-Pacific Top Level Domain Forum) は、アジア太平洋地区における国別トップレベルドメイン(ccTLD)管理機関間の連携を行うため、1998年7月、APNGを母体として組織された。2002年5月現在、au、cn、jp、.kr、.my、.nu、.nz、.th、.twなど、17のccTLD管理機関が正会員となっており、MIMOS Berhad(.my)のRemesa Kumar Nadarajah氏がチェアを務めている。事務局は台湾のTWNIC(台湾ネットワークインフォメーションセンター)に置かれている。日本からの参加機関は(株)日本レジストリサービス(JPRS)である。

ドメイン名の登録ポリシーや紛争処理、国際化ドメイン名の取り扱いなど、トップレベルドメイン登録管理に関わる諸問題について参加者間で情報交換を行うほか、ICANN(The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)に関する意見書のとりまとめ、アジア各国を訪問しての教育活動などを行っている。メーリングリストによる議論のほか、年4回程度のミーティングを、ICANNやAPRICOTなどのミーティングに併設して実施している。

(大橋由美 株式会社日本レジストリサービス)

インターネットの世界を牽引する研究コンソーシアム。IPv6研究をはじめ、グローバルな活動ぶりをみせる



Jump [www.wide.ad.jp](http://www.wide.ad.jp)

問い合わせ先

WIDE Project

**E-mail** press@wide.ad.jp  
**tel** 0743-72-5150  
**fax** 0743-72-5149/5159  
 (奈良先端科学技術大学院大学  
 情報科学センター 砂原秀樹気付)

WIDEプロジェクトは、インターネット技術に関して研究・開発を行うことで、インターネットの世界において牽引力となるべく組織された研究コンソーシアムである。大学、企業、国立研究機関の研究者、技術者をメンバーとし、現在約450名が所属している。ここでは、単に技術の研究・開発だけでなく、実際のネットワークの運用を行いながら、そこで得られた知見を技術移転することにより社会に貢献することも目的とされている。また、IETFなどの標準化活動に積極的に参加し、国際的な標準化活動においても中心的な役割を果たすように活動を行っている。

■活動内容

プロジェクトでの活動は、十数程度のワーキンググループと呼ばれる研究グループによってテーマと目標を定めて進められている。現在のテーマは、IPv6の開発と普及、性能測定技術とネットワーク運用技術の開発、セキュリティ技術の開発と普及、インターネット空間における高等教育環境の構築、自動車を含む移動体情報システムの構築、実空間に基づくコミュニケーションシステムの構築などがあげられる。これらの成果は、ソフトウェアの配布、論文発表、各種イベントへの協力、技術移転を目的とした講演などによって、広く公開されている。(砂原秀樹 奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター教授/WIDEプロジェクト 広報担当ボードメンバー)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)